

コンさる君の 今日も視界良好

vol.026

② 深刻な経営状況が継続する背景 中小企業診断士 長尾 康行



こんにちは。株式会社フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。

6月に入りました。梅雨入りし、蒸し暑さが続きますがそういう季節であっても気持ちは爽やかで晴れ晴れといたいものです。

6月は紫陽花がきれいな時期ですし、水分をたくさん含んだ緑が力強く見える時期でもあります。なんとなく気が滅入る季節でも、見方を変えれば感じ方も変わってきますね。

さて、先月の話なのですがホームページを経由して当社に5件の経営相談がありました。簡単なヒアリングをするだけですぐにわかるほど、どの企業も状況は深刻でした。「なぜ、ここまで放置されていたのか？」相談を受けていると私の気持ちの半分は怒りに近い感情、もう半分は落胆に近い感情になりました。

5社ともだいたい同じ状況だったのですが金融機関からはお金を借りることができないどころか返済も滞っている、税金や社会保険も滞納している、消費者金融からも借りている、手元資金はなく、営業赤字で、債務超過である。このような状況で「どうにかありませんか？」と聞かれても返答に困ってしまいます。一方で経営上の問題が何もない会社などはありません。

特に私どもに相談に来られる企業様は業績もしくは財務上の問題を抱えていて当然です。ですが、下記の3つは何とか守った状態でご相談に来ていただければあらゆる可能性を模索できると思います。

- ①本業（営業利益）での黒字、もしくは僅かの赤字である
- ②手元運転資金が潤沢とまではいかないが必要最低限確保されている
- ③社会保険と税金を滞納していない

この3つは本当に重要です。それ以外の金融機関からの調達ができない、返済ができない、債務超過

というのは上記の3点が維持できているなら大丈夫です。事業を継続できるか否か、改善する価値が

あるか否かは債務超過などの過去の帳面上の数字や金融機関との関係性ではなく本業で利益が出ているか、

本業に価値があるかで決まるのです。先月に当社に相談に来られた方の多くは残念ながら本業に価値がなく、継続すればするほど傷口が深くなる状況です。長く事業を行ってれば瞬間的にそういう時期があるのは私も理解できますが、少なくともこの5社についてはいずれも慢性的にそのような経営が続いているのです。なぜこのような状況になってしまったのか、それを考えるのも専門家として重要なことです。

私はこの経営状況に至る経営者の思考プロセスを自分なりに考え、結論を出しました。それは経営者の認識する力が不足しているということです。「まだいけるはずだ」「自分のやり方で間違いないはずだ」「一時的な赤字だ」・・・。

悪い状況に対して全て主観的かつ楽な方へ認識してしまっているのではないかと。やはり、自分の感性ではなく何かと対比しながら認識しないといけないと思います。計画や予算との比較、販売目標との比較など何かと比較することで自社の立ち位置が分かるというものです。

蒸し暑い梅雨の時期を鬱陶しいと感じるか、紫陽花がある場合とない場合を比較して季節を五感で感じるか・・・。

自分の感覚だけで物事を認識するよりも何かと比較の方が色々なものが見えますからね。



③ 言葉 コンサルタント 住吉 いずみ

こんにちは、コンサルタントの住吉です。新年度が始まり、ゴールデンウィークを終え、梅雨がやってきて・・・時の経過は本当にあっという間ですね。通勤時にすれ違う新入社員であろう若い社会人の方々の表情も、心なしか緊張が解けて和らいできたように感じます。

ところで、実は最近ビジネス書よりも色んなジャンルの小説をよく読んでいます。ふらっと書店に入って、本の帯や裏表紙(?)に書かれたコメントや概要を読んで「あ、なんかいいな。」と思った本を衝動買いします。ジャンルは特に関係なく、ミステリーや恋愛、エッセイなどなど。本を読み進めるうちに、その世界にぐっと入り込んでいく不思議な感覚が気持ちいいです。そのうち登場人物に感情移入して泣いてしまったりするのですが(笑)

私は昔から色んな「言葉」が好きで、暇つぶしに国語辞典を読み漁ってみたり、「あ」から始まる言葉をひたすら書き出してみたり、と子どもの頃は若干変な趣味がありました(笑) その影響もあってか、今も言葉にはパワーがある、いわゆる「言葉」があると思っています。

当社の主たる事業は事業再生・経営改善支援ですので、経営状況が苦しく非常にネガティブな場面が多いのが実情です。

しかし、たとえ苦しい場面であっても何が何でも建て直すというおもしろい言葉を発している企業様(経営者様)は、再建のスピードが早いように感じます。また、経営理念や credo、行動指針といったものにも大きなパワーがあります。私が前職で勤めていたコンサルティング会社では「こだわり」といっつもの行動指針があり、朝礼やミーティングで1つこだわりを選んで議論をしていたのを鮮明に覚えています。たとえ中小企業や小規模事業者であっても、会社として大切にしたいこと、ゆずれないおもしろいなどを言葉にすることをお勧めします。

ちなみに当社も、会社名やロゴマークに大切なおもしろいを込めています。(詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください・・・!)

経営改善の現場では、精神論ではどうにもならないという見方もあるかも知れませんがそれでもやっぱりポジティブであって欲しいと思います。そして、私どもは経営者・幹部の皆様の言葉を信じ、そのおもしろいを実現する助けになりたいと思います。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-8-2 三見ビル2階

TEL : 0120-34-8776

FAX : 06-7635-8214

MAIL : info@flagship-keiei.co.jp

URL : www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ
@flagship_keiei お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter
@flagship_keieiにて随時情報発信中!

